

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 3332
部 名	土木部	課 名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
事務事業名	公共下水道整備国庫補助事業（市街化区域分）				
予算上の事務事業名	下水道整備課分				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32620	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施策名	第2施策 雨水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法第3条（管理） 公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市雨水対策基本計画		「雨に強いまち」さがみはらを目標として、大雨による浸水被害の軽減、解消に向けて効率的かつ効果的な雨水対策事業を実施するもの。		
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
公共下水道（雨水）の整備により、浸水被害の軽減・解消を図るほか、整備工事を円滑に推進するための外部委託を行う。			市内全域		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
整備工事	14件	926,382,000円			
設計委託	1件	13,650,000円			
地下埋設物調査委託	1件	1,086,750円			
6 関連・類似事業や他市の状況					
公共下水道整備国庫補助事業（市街化調整区域分）					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,866,156	1,098,227	926,382	916,800	916,800
一般財源	293,180	161,473	93,583	141,400	141,400
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	1,572,976	936,754	832,799	775,400	775,400
人件費の合計	88,110	88,770	80,500	80,500	80,500
事業コスト合計	1,954,266	1,186,997	1,006,882	997,300	997,300
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	公共下水道整備国庫補助事業（市街化区域分）			対象名称と単位	工事件数（件）
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,954,266	1,186,997	1,006,882	997,300	997,300
対象数	17	16	14	4	4
単位あたり経費(円)	114,956,824	74,187,313	71,920,143	249,325,000	249,325,000
前年度比		0.65	0.97	3.47	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	工事完了件数（件）		指標式と指標の説明	工事完了件数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	12.0	7.0	8.0		
目標	14.0	14.0	11.0	4.0	4.0
目標達成度（%）	85.7	50.0	72.7		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	浸水被害解消率（%）		指標式と指標の説明	浸水被害解消箇所数／浸水被害想定箇所数×100 浸水被害が解消された箇所数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	12.0	19.0	27.0		
目標	14.0	28.0	39.0	43.0	47.0
目標達成度（%）	85.7	67.9	69.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		相模原市雨水対策基本計画に基づき、今後とも適正な執行に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			河川整備の遅れにより流出抑制されている雨水管について効果が削減される。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			